



2021年7月14日

株式会社日立製作所
執行役社長兼 COO 小島 啓二
(コード番号:6501)
(上場取引所:東・名)

日立が米国 GlobalLogic 社の買収を完了

株式会社日立製作所(以下、日立)は、2021年3月31日に締結した最終契約に基づき、本日(米国時間7月13日)、GlobalLogic Inc.(以下、GlobalLogic社)の買収を完了したことをお知らせします。

2021年3月31日付のニュースリリースでお知らせしたとおり、本買収を通じて、日立の米国子会社 Hitachi Global Digital Holdings LLC(以下、HGDH社)は、GlobalLogic社の親会社である GlobalLogic Worldwide Holdings, Inc.(以下、GlobalLogic Worldwide Holdings社)の発行済み株式の100%を取得し、GlobalLogic Worldwide Holdings社およびGlobalLogic社はHGDH社の完全子会社となりました。

GlobalLogic社は、世界各地のエンジニアリングセンター やデザインスタジオで働く2万1,000人以上のプロフェッショナルな人財を擁しています。高度なデジタルエンジニアリング、エクスペリエンスデザインおよびデータサービスの専門性を生かし、グローバル規模での協創を通じて、顧客のイノベーションを加速し、新たなデジタル製品やユーザー エクスペリエンスの開発を支援しています。本買収により、日立グループは、デジタル技術を活用してお客さまや社会が直面する課題を解決する社会イノベーション事業を強化するとともに、その中核を担うLumada事業をグローバルに拡大することで、社会インフラのDX(デジタルトランスフォーメーション)を世界規模で加速することが可能となります。

また、GlobalLogic社のケイパビリティとLumadaを融合することにより、Lumada上で蓄積してきた豊富なデジタルソリューションをグローバルに展開するとともに、クラウド上の迅速なアプリケーション開発により、お客さまや社会の課題解決を加速します。さらに、GlobalLogic社と日立の5セクター(IT、エネルギー、インダストリー、モビリティ、ライフ)ならびにオートモティブシステム事業(日立Astemo)が連携することで、日立の有する幅広いプロダクト群をデジタル技術により高付加価値化し、新たなLumadaソリューションの創出をめざします。これらの取り組みを通じて、日立とGlobalLogic社は一体となって、高成長が見込まれるDX関連市場でLumada事業のグローバル展開を加速します。そして、重要領域である「環境」「レジリエンス」「安心・安全」に注力し、お客さまの社会価値、環境価値、経済価値の向上と、持続可能な社会の実現に貢献することをめざします。

■株式会社日立製作所 執行役会長兼 CEO 東原敏昭 のコメント

GlobalLogic 社を日立グループのメンバーとして迎えることができ、大変嬉しく思います。

日立は、GlobalLogic 社の高度なデジタルエンジニアリング力、エクスペリエンスデザイン力による革新性と、日立のミッションクリティカル分野で培ってきた信頼性を融合することにより、社会インフラの DX を推進し、社会イノベーション事業のグローバルリーダーをめざします。そして、日立と GlobalLogic 社は一体となって世界中のお客さまとの協創を通じ、Lumada を活用して「環境」「レジリエンス」「安心・安全」の重要領域に注力することで社会やお客さまの課題解決に取り組み、人々の QoL(Quality of Life)向上に貢献していきます。

■GlobalLogic 社 社長兼 CEO シャシャンク・サマントのコメント

GlobalLogic 社が日立グループの一員になることで、OT(Operational Technology)、IT、IoT/デジタルエンジニアリングの力を結集させた、ユニークな事業機会を生み出します。私たちは日立と共に力を合わせることを楽しみにしています。私たちの事業領域とデジタルにおける能力と経験を融合させ、お客さまには革新的な成果を、社会には大きな価値をもたらすことを切望しています。

■日立製作所について

日立は、IT(Information Technology)、OT(Operational Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2020 年度(2021 年 3 月期)の連結売上収益は 8 兆 7,291 億円、2021 年 3 月末時点で連結子会社は 871 社、全世界で約 35 万人の従業員を擁しています。日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション／サービス／テクノロジーである Lumada を通じて、IT、エネルギー、インダストリー、モビリティ、ライフ、オートモティブシステムの 6 分野でお客さまのデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速することで、社会価値・環境価値・経済価値の 3 つの価値向上に貢献します。

また、日立は、COP26 のプリンシパルパートナーとして、脱炭素社会の実現に向けて主導的な役割を果たし、気候変動領域のイノベーターとなることをめざしています。2030 年度までにすべての事業所でカーボンニュートラルを実現し、2050 年度までにバリューチェーン全体で CO₂ 排出量を 80% 削減することを目指しています。



詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

以 上

このニュースリリースにおける将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。このため、実際の結果と大きく異なりたり、予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承下さい。
